

放課後等デイサービスエンカレッジのプログラムについて

R8.3.16作成

【理念】

一般社団法人 ママズルームは、創業当初から子どもたちの「生きる力」を育むことを目的とし、「大人になっても通用する方法」を伝えてきました。

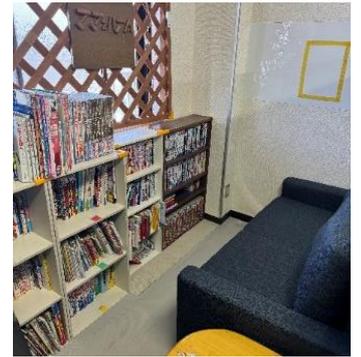
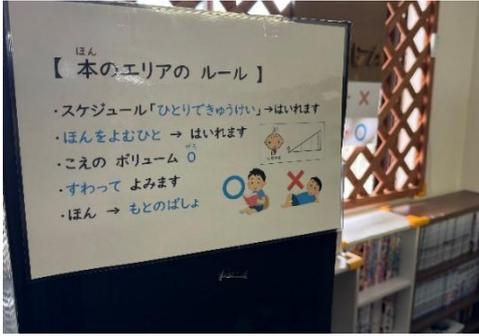
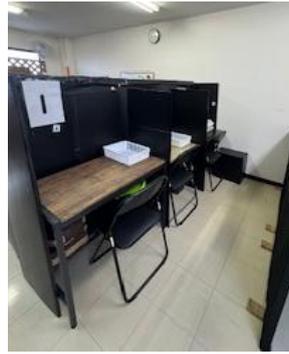
【方針】

ママズルームスタッフは、これからも子どもたちの無限の可能性を信じぬき生きる力を育ててまいります。」

【営業時間】9:00～17:00

※5 領域

- 心身の健康や生活に関する領域「**健康・生活**」
- 運動や感覚に関する領域「**運動・感覚**」
- 認知と行動に関する領域「**認知・行動**」
- 言語・コミュニケーションの獲得に関する領域「**言語・コミュニケーション**」
- 人とのかかわりに関する領域「**人間関係・社会性**」

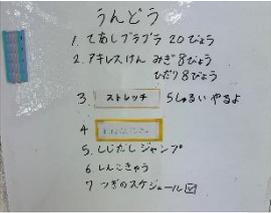


放課後等デイサービスエンカレッジ

「自らスケジュールを立て能動的に動けること」を事業所卒業の最終目標としカリキュラムを作成しています。

スケジュールのご紹介

①	靴を入れる・手洗い 消毒・挨拶 (認知・行動) (言語・コミュニケーション) (健康・生活) (人間関係・社会性)	基本的な生活動作の習慣化を狙いとしてサポートしていきます。 また、どのような挨拶が好ましいか考えさせ、正しい方法・相手に感じよく伝わる方法を視覚的に教えていきます。 (コミュニケーション力の向上) 
②	体温を測る 先生に伝える (言語・コミュニケーション) (健康・生活) (認知・行動)	自分の平熱を知ることができるよう、定期的に検温する習慣をつけます。 体温の重要性や熱への意識付けも同時に行います。 また、自ら先生に伝えることで自分の健康状態を他者に伝えることの重要性を教えていきます。(疲れのレベルも数値化して自覚できるように疲れメーターを用いています) 年齢をかさねるにつれて、何度以上はどのように過ごしたらよいのか、何度から自分はきつくなるのか等、振り返りを行いコントロールする事を訓練していきます。
③	連絡帳を入れる (認知・行動) (人間関係・社会性)	セッションの準備が自らできるよう、環境調整を行い、トラジッションエリアを決め、スケジュールを提示し視覚的に教えています。  また、物を管理していけるよう、自分の道具場所を決め、意識付けを行います。
④	運動療法 (運動・感覚) (健康・生活)	自分でできるストレッチの方法を教え、疲れのコントロールなども教えています。 遊びを通して、楽しく体を動かしながら、運動面・感覚面へアプローチし、成長を育みます。 ① 体幹トレーニングを中心とした粗大運動 ② 感覚トレーニング・アロママッサージ(セルフマッサージ) ③ ビジョントレーニング ※個別で運動療法を行う日は、⑥⑧はありません。 運動療法の日以外も、スケジュールに運動は組み入れており、身体を動かすことで自身の身体や気持ちなどがどのように変化するのかなど内面的なサポートも行います。

⑤	<p>一人で休憩 (認知・行動) (人間関係・社会性)</p>	<p>一人で静かに休憩を行うトレーニングを行います。 どんな事がどんな場所で行えるのか TPO に合わせて視覚的にわかる形で絵カードを提示し、選択をしながら学んでいきます。 エンカレッジでは、何故その絵カードに書いてある項目しかここでは出来ないのか、「時間」「場所」等、世の中の枠組み・暗黙の了解等を本人が解る形で教えています。</p>
⑥	<p>一人で勉強 (認知・行動) (運動・感覚)</p>	<p>個々に応じて、自立課題を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ビジョントレーニングワーク ● コグニティブトレーニングワーク <p>※一人で自立してやり遂げる力を養う目的から、時間を決めて宿題を持って来てでもいい事にしています。 分からない時に質問する事。質問の仕方・行動を視覚的に分かるよう環境を整えて教えています。</p>
⑦	<p>おやつ</p> 	<p>選択肢の中から、自分が食べたいものに最も近いものを選ぶことができるよう、自己認知を育みながらサポートしていきます。 食べ終わった後の後片付けや、身だしなみ(口の周りなど)への意識づけも、鏡などを用いて行っています。</p>
⑧	<p>先生と勉強</p>   <p>(言語・コミュニケーション) (認知・行動) (人間関係・社会性) (移行支援)</p>	<p>曜日ごとに設定したカリキュラムを行います。</p> <p>【ソーシャルトレーニング】 「こんな時どうするカード」や「コグニティブトレーニングのテキスト」を用いてトレーニングを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 他者の気持ちを想像すること ● 伝わる伝え方 ● 質問の仕方 ● 大人になっても通じる TPO に応じた振る舞いを視覚的に教えていきます。 <p>【学習支援】 LD(学習障害)の診断を受けているお子さんや、受けていなくても、提出期限を守れない、また行を間違えたり、質問の意図が分からず課題につまづいているお子さんに対して、「解き方の工夫」や「勉強の計画の立て方」を一緒に考えて教えていきます。教材は、宿題やお子さんにあったテキストなどを用いて進めていきます。</p> 

		<p>※不定期ですが、パソコンや5W1H、自己認知などについて、小集団ごとにグループワークを行う日を設けています。</p> <p>5W1H を用いて語彙力を学び正確に状況を伝える力を育てていきます。又は、コミュニケーションゲーム等を通して、コミュニケーション力を育てていきます。</p> <p>☆オリジナル教材を使用しゲーム感覚で楽しみながら学んでいけるようサポートしていきます。</p>
⑨	<p>お楽しみ活動 (トークン)</p> <p>(認知・行動)</p> <p>(人間関係・社会性)</p>	<p>頑張ったご褒美としてお楽しみ活動をする時間です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関わり方 ● 共感 ● 相手の立場に立つ ● 楽しむということ(勝負の切り替え) <p>を教え、スケジュールを自ら立てる時にモチベーションがどのように自分の生活に大切なのか振り返りをしながら教えていきます。</p>
⑩	<p>帰りの挨拶</p> <p>★忘れ物チェック (認知・行動)</p> <p>(言語・コミュニケーション)</p>	<p>挨拶をするときに人は自然に忘れ物チェックをしています。</p> <p>このように当事業所では人は言わないけど自然にしていることを言葉や視覚的にわかる形で教えていきます。</p>

自我の目覚めが始まり思春期や反抗期をはじめ、発達に偏りのあるお子様は**他の子との違いにも葛藤することが**増えていきます。児発の時とは違い、手取り足取りするのではなく、後ろから見守りつつどんな時も**「自分はこれでいい、これがベスト」**と子ども達が思えるように励ましながら、「エンカレッジ」としてサポートしています。

また、季節に応じた内容をセッションに取り入れます。長期休みには、外出イベントを企画し、公共施設の利用の仕方や社会の暗黙のルールを学べるようサポートします。

【家族支援】

定期的にご面談を行い、ご家庭での様子や困り事などをお聞きして、セッションに活かしていきます。兄弟児さんの相談なども承ります。

【送迎の有無】

長期休みの外出イベント時や、一部の学校・園に送迎を（主に片道のみ）行います。それ以外は、ご家族様の急病・急用などやむを得ない事情がある場合に行うことがあります。

【職員の質の向上】

最低でも月に1回は研修を実施しています。厚生労働省等がアップしている動画研修の視聴や、自閉症に関する事業所内研修など内部講師（九州各地で講師の経験あり）による研修を行っています。基幹相談支援センターや発達支援センターより講師派遣して頂く事もあります。

【地域支援・地域連携】

講演活動・セミナーの開催・市民団体との連携など